



コンセプチャルスキル/1日研修

Revised

住民協働と パートナーシップ

住民、NPO、ボランティア等との よりよい関係の築き方

➤ 本研修の概要とねらい

- ① 協働の必要性を理解し、住民とのパートナーシップのあり方について学ぶ。
- ② 協働の意義と役割を理解しよりよい協働を実践するために、自治体職員に求められる能力の習得を図る。

➤ 主なコンテンツ

行政の立ち位置、ベストキャスト、誰もが主役・対等、ともにハッピー、他人事でなく自分事、違いを認め活かしあう、共感による合意形成、楽しさの共有、場づくり・雰囲気づくり、ねらいの明確化など
(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)。

➤ 演習/実習の内容

- 協働事例研究
- ワークショップ体験
- ファシリテート・ロールプレイ
- ワクワク協働——メニューとレシピづくり
- 協働の決め手としかけ——私のアクションプラン

➤ 受講対象(推奨)

中堅職員～管理職

➤ 講師からの一言

“協働”はエキサイティングでおもしろい！！
時代を見据え、現場の息吹を感じながら、その魅力と可能性について、一緒にアプローチしていきましょう。



一般社団法人 日本経営協会講師
小室 邦夫(こむろ くにお)

政策形成能力、協働のまちづくり、CS向上、クレーム対応、リーダーシップ、地方公務員制度、公務員倫理、職場活性化、人材育成、職場研修指導者養成、各階層別研修などのテーマで多数の自治体に出講中。

民間企業を経て箕面市に奉職。人事研修係長、秘書課長等を歴任。この間、大阪府職員研修所に出向。箕面市退職後、NPO法人CS神戸で、一年間起業研究員として研鑽。独立後ヒューマンスキル研究所を主宰。

現在、認定NPO法人CS神戸理事を兼職。神戸を拠点にNPO活動を実践中。研修では、自治体職員として培ったノウハウを基に、実践的で納得性の高い指導を行っている。

その他、龍谷大学政策学部客員教授として公共政策や地方自治のあり方を研究している。

本講師の他の研修

- a. 政策形成能力
- b. リーダーシップ
- c. 公務員倫理
- d. 人材育成

住民協働とパートナーシップ

1日研修タイムテーブル案

講義テーマ	主なコンテンツ
オリエンテーション 1. 協働の今日的意義 (1) 時代トレンド (2) 協働の意義とねらい 2. 協働実践のアプローチ (1) 協働の基本スタンス (2) 協働のしくみと機能 (3) 各地の実践事例 3. 協働実践シミュレーション (1) ワークショップの要素とルール	☞ 市民活動のうねり、行政の立ち位置、ベストキャスト ☞ とともにハッピー、住民自治の具現化、価値創造 ☞ 対等の関係、相互理解、相乗効果、情報公開と共有 ☞ 立場や専門性を超える、誰もが主役、楽しさの共有
昼食休憩	
(2) ファシリテーターの役割 (3) 協働型事業の視点 4. 協働コミュニケーションの実践 (1) 協働コミュニケーション (2) 合意形成のポイント 5. パートナーシップ型行政をめざして (1) 協働実践のキーワード (2) QAタイム (3) 明日からの実践	☞ 雰囲気づくり、進行をコントロール、縁結び・触媒 ☞ 目的、対象、理解、関心、参加、コンセンサス、納得性 ☞ 受容と共感、ルール化・見える化、上位目的の探求 ☞ オプション、プロデュース、アクション

■本研修を受講した研修生の感想

- ☞異なる部署、職種の方々が抱えている悩みやクレーム対応等を知る事が出来た。
- ☞今後の業務に活かしていけそうだと思う。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

- ☞自治体で活躍していた経験のある講師が指導します。
住民との様々な協働の事例を紹介しながら、合意形成の勘所を学んでいただけます。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>